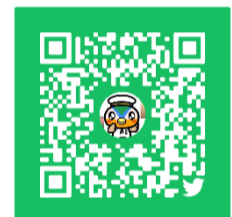


長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

空から故郷の島を

離島で体験搭乗

長崎地本（本部長 西田 洋一郎1海佐）は、12月12日（土）離島における募集広報活動の一環で、陸・空自衛隊のヘリコプター部隊の支援を得て、体験搭乗を実施しました。

体験搭乗は、上五島空港、小値賀空港、杵岐空港の3箇所で行った。参加者は、中・高生を含む募集対象者とその保護者や募集協力者など合わせて約90名で、上五島と小値賀では、陸自高遊原分屯地の第109ヘリコプター隊のCH-47JAに、杵岐では、空自春日基地の春日ヘリコプター空輸隊のCH-47Jに搭乗しました。



参加者とCH-47JA（上五島空港）



参加者とCH-47J（杵岐空港）



参加者とCH-47JA（小値賀空港）

不安と希望を胸に

空教隊研修

長崎地本（本部長 西田 洋一郎1海佐）は、2月14日（日）山口県の中南部、周防灘（瀬戸内海）に面した街、防府市にある航空教育隊で研修を実施し、航空自衛隊入隊予定者13名とその保護者等7名が参加しました。

当日は、晴天にも恵まれ、研修が開始されました。まず初めに講堂において教育概要の説明を受けた後、基地内の施設を見学しました。居住施設では、6人部屋の居室、洗面所、お手洗い、洗濯室など集団生活で使用する施設を見学し、入隊予定者は、生活のイメージを実感した様子でした。また、共同使用場所においては、洗濯などはお互いの協力と自己の時間管理



により、自衛官としての規律と協調性を養うことが重要であるとの説明を受けました。その後、食堂へ移動し体験喫食を行いました。1日3食とも栄養管理がしっかりと行われていることに、保護者も大変安心した様子でした。午後から、若年隊員との懇談として、入隊までに準備する物や入隊後の心構えなどについて説明を受けました。そこでは、自身の体験談等にユーモアを交えた和やかな雰囲気の中、最終質問が飛び交い、予定時間を超過するほど大いに盛り上がったところで、研修の全日程を終了しました。

参加者からは、「施設が充実し、隊員のサポート体制もしっかりしていて安心した。」との感想が聞かれました。最後に、3月にまた会うことを隊員と約束して防府南基地を後にしました。

長崎地本は、入隊予定者の不安などの払しょくの重要性を強く認識し、これからも、あらゆる手段を講じ、入隊業務の円滑化に努め、自衛隊に興味を持ち、自衛隊を志す若者が増えることを願い、今後も募集広報活動に邁進いたします。

（募集課）

現在受付中の令和3年度自衛官等採用案内

種目	受付期間	試験期日
幹部候補生	①3/1~4/28	①1次5/8・9
	②3/1~6/18（飛行要員除く）	②1次6/26
医科・歯科幹部	①2/1~6/11	①6/25
技術海上幹部 技術航空幹部	3/1~5/21	6/21
技術海曹 技術空曹	3/1~5/21	6/18
一般曹候補生	①3/1~5/11	①1次5/21~30
予備自衛官補	①1/6~4/9	①4/17~21

※受験資格は各種目により異なりますのでホームページ等でご確認ください。

※記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。



平和を、仕事にする。

陸海空自衛官募集

自衛官募集 検索

募集コールセンター

0120-063792

（年中無休 受付時間 12:00~20:00）



国家を守る、
公務員。
自衛官募集集中

離島での就職援助の実態

限られた機会を有効に活かして

長崎県には、杵岐・対馬及び五島列島の有人離島があり、島での再就職を希望する退職予定自衛官の就職援助を行っているのが長崎援護センター（センター長 藤尾伸吾3等陸佐）です。離島での就職援助希望隊員は、長崎市、佐世保市、大村市等に比べ少ないものの、五島列島の福江島には航空自衛隊の部隊が所在している関係から、毎年5名〜10名程度の就職希望者が出ます。

就職援助活動は、まず就職援助希望隊員との面談を通じて希望調査を行うのですが、遠方である離島の特性から、電話による心情把握を中心に進め、希望の変化に適切に対応するよう心掛けています。加えて企業訪問も限られた機会（日数）で行う必要があります。このため離島に企業訪問に行く際は、集中的に訪問できるよう1日に5〜6社、多い日には10社近くを計画する場合があります。事前に各企業と調整を図り、効率よく企業を訪問しています。



企業を訪問する際は、就職援助を希望する隊員が自衛隊において勤務してきた職責、保有資格、災害派遣やPKO参加等の経歴を説明し、その隊員が企業の戦力として活躍できる旨を説明します。その時に就職援助組織、求人票の記載・提出要領及び予備自衛官等制度の説明も併せて行い、企業から自衛隊援護組織に求人票を提出しやすい環境構築に努めています。また、就職した自衛官OBの就業状況確認、その企業のその他求人情報も収集します。

離島には、その地域の駐在員事務所（杵岐、上五島、五島）があります。その協力が大切です。車両による輸送支援のみならず、地域企業の状況、就職した自衛官OBの近況情報も得るなどの共有を図り、援助に生かしています。

長崎援護センターは、引き続き離島を含め隊員が安心して再就職できるよう各部と協力し就職援助を行ってまいります。（長崎援護センター）

コロナ禍でも予備自衛官と連携強化

『予備自衛官かわら版』 発刊

長崎地本（本部長 西田洋一郎1海佐）は、本年1月、県内在住の予備自衛官に対し、地本独自で作成した機関紙『予備自衛官かわら版』を送付しました。

政府による緊急事態宣言の発令に伴う招集訓練の中止や雇用企業側の要請による訓練出頭見合わせなど、コロナ禍において予備自衛官との連携機会が制約されるとともに、自衛



官の定年年齢引上げに伴い定年退職者が減少し、新たな予備自衛官の勢力確保に支障をきたすことから、現在任用している予備自衛官との更なる連携強化が必要と判断したものです。

機関紙を受け取った予備自衛官からは、「懐かしい顔に出会えてうれしかった。」「令和2年7月豪雨災害派遣における予備自衛官等の活動状況が分かり有難かった。」「いつもサポートしてくれてありがとう。」「など、多くの感謝の意が寄せられました。

長崎地本は、今後もあらゆる施策を導入して予備自衛官との連携強化を図り、防衛力を支える人的基盤のより一層の拡充に努めてまいります。（予備自衛官室）

Twitter つぶやきPickUp



自衛隊長崎地方協力本部 @NagasakiChihon

2021/02/09

2月9日（火）、水陸機動団の協力を得て、職場体験を実施しました。装備品や訓練の見学、ロープ技術体験等を実施しました
「初めてのことばかりでしたが陸上自衛隊の中にもいろんな仕事があり、いろんな人が働いているとわかりました!!」との感想でした。



5 53 384



自衛隊長崎地方協力本部 相談窓口のご案内

- 佐世保出張所 大村地域事務所 諫早地域事務所
- 島原地域事務所 長崎募集案内所 琴海地域事務所
- 杵岐駐在員事務所 対馬駐在員事務所
- 上五島駐在員事務所 五島駐在員事務所

各所の場所や詳細は、長崎地本のホームページで確認できます！

地本部員集合訓練

長崎地本（本部長 西田洋一郎1海佐）は、12月16日（水）、令和2年度後期地本部員集合訓練を実施しました。本訓練は「地本部員としての識能を向上させる。」ことを目的とし、長崎地本の全部員が集まり、年2回実施していますが、今年度はコロナ禍により、募集範囲を各部署管理職員に縮小し実施しました。

前段訓練では、長崎市柿泊運動公園において、体力検定（測定）を実施し、受検者全員が各種目に真剣に取り組み、自衛官として必要な基準に到達していることを確認しました。

後段訓練では、本部長から、防衛力強化に直接影響を与える人的基盤の確保の重要性、コロナ禍における創意をもった各種行事の推進等令和2年の部員の努力に対する労いと、令和3年への成果の継続の訓示を受けた後、各種教育を実施しました。



後段訓練の教育の様子



体力検定に取り組む地本部員

体育教官による「体幹トレーニングの実施要領」、総務課長によるコンプライアンス教育を実施し、自衛官として、また、社会人としての心身の在り方及び遵法意識の高揚を図りました。最後に服務教育を実施し、各種服務事故の未然防止を図りました。

令和3年においても部員一人丸となって任務に邁進する決意を新たに、本訓練を終了しました。（総務課）

お知り合いに興味のある方いませんか？

自衛官採用 32 歳まで

「守りたい。その決断は遅くない！」

自衛隊長崎地方協力本部
095-826-8845
長崎市出島町 2-25